

議会だより

No.

180

令和7年4月16日

# おながわ



逃げる!  
走れ!  
高台へ!

施政方針への議員の視点	2
次の100年へ100人の声 (第二弾)	12
議員養成塾開講へ	25
みんなの女川ダイニング	26

※表紙の写真説明は裏表紙に記載しています。

3月定例会  
施政方針

議員の視点を加えて  
町政を推進

須田善明町長の施政方針に対する質疑を行い、町財政・町づくりなどについて町の考えをただし、また提案もしました。



町制施行100周年へ…  
もっと、もっと  
活力のある町に

記念事業



一人でも多くの参加を

問 町制施行100周年記念事業へ向けた取り組みや情報発信は。

答 関係団体とも協議をしながら、町民の皆さんの活動にもつながるようなあり方というものは、ぜひやっていきたいと思っています。情報発信については、町民会議もそのための母体として、より活発に取り組みます。

財政



20代女性

町民の声

観光振興により力を入れつつも住む人・働く人を増やすための対策を取り入れ、今後の安定的な財源の確保、この町の未来につなげてほしい。

問 重要な自主財源の確保について見解は。

答 バランスが取れている状態が将来的に望ましいため、今のうちからしっかり準備をし、より具体的な内容や対策を図っていかなければいけないと理解しています。

## 働く環境



30代女性



町民の声

**答** これからの時代、人口減少に向き合い続けなければいけない中で、地域としての考え方や、価値観というところでステージづくりから始めていきます。

地域としての考え方や価値観とは何か？共働きですが子どもとの時間、家族の時間も大切に過ごしていきたいです。

**問** 子育て世代が働きやすい環境、地域を変えていくための取り組みとは。

## 物価高騰



幅広い分野で値上げの動き

**答** これまでも商品券事業等を行っていますが、町制施行100周年の絡みもあることから、どこかのタイミングで予算化は当然考えていきます。

**問** 止まらない値上げラッシュ。町民に対する経済対策は。

## 水道



現在水道整備中

**答** 国の交付金などの有利な財源は活用しつつ、財源の組替え等々を図って自主財源の負担軽減に努めていきます。

**問** 老朽化対策について、国の交付金を活用して整備すべきでは。

## 災害車両



50代男性



町民の声

なぜ水よりも先にトイレ車両の購入なのか疑問に思う。災害時、最優先すべきものは水ではないか。

**答** 年度途中で補正をあげる可能性はありますが、まずはトイレ車両を優先して進めていきます。給水車については、実施時期を見定めて取り組みます。

**問** 災害用トイレ車両購入に伴い、給水車を同時に購入する考えは。

## 原 子 力



50代男性



町民の声

**答** 先行して実施済の自治体と話しつつ進めている段階です。税率等の範囲や考え方として、どうまとめていくべきか取り組んでいます。具体化に向けて詰めていきます。

必ず入ってくる税収だから貰えるだけもらって、町民のために必要なものを作ったり、電気を安くしてほしい。

**問** 使用済核燃料税について、進捗状況は。

## 未 来



仕事の魅力を伝える

**答** いろいろな仕事がある、地域の中でも多様性があるということを知ってもらうことは大事なことで、今後の材料として活かします。

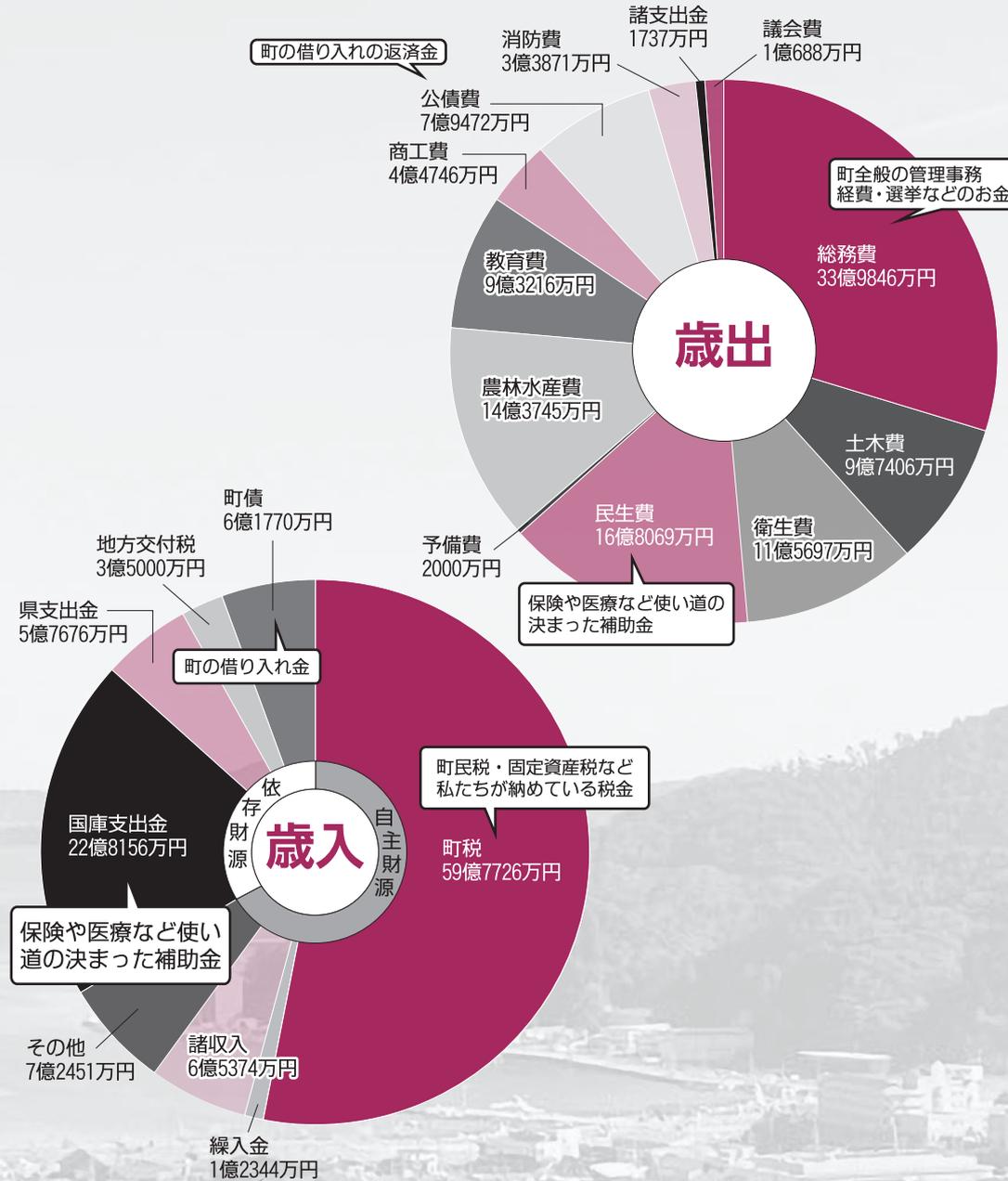
**問** 女川にはこんな仕事がある。子どもを対象に支援等を実施しては。

## 一般会計予算の説明

令和7年度の一般会計予算は、令和6年度より増加しました。その要因として離島航路船舶の老朽化に伴う新船建造費用2億3213万円、旧女川第一小学校跡地に整備する認定こども園等の工事費6億6344万円等の工事費増が主なものです。

# 3月定例会

# 予算審査

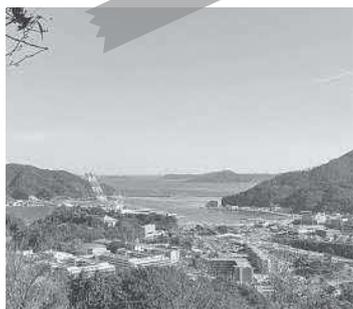
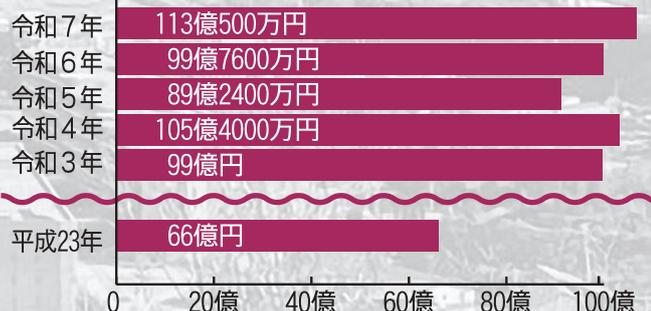


# 震災後のインフラ 整備最終盤へ

## 予算審査特別委員会概要

3月6日から3月11日まで開かれました。当初予算は113億500万円とし、今後の財政課題、新規事業などを審議し、一般・特別・事業会計予算を原案のとおり可決しました。委員長 木村公也 副委員長 宮坂千尋

## 一般会計予算の推移



背景は「息づく町」

撮影者：崎村周平さん  
撮影地：黒森山

# 一般会計予算 113億500万円

令和6年度比 11.76%増

## ギカイ Check①

### 災害公営住宅 家賃の減免は

住宅戸数は昨年より25戸減っていますが、一戸あたりの入居単価が上がっています。町で家賃の減免を15年まで掛けていますが、現在は10年前後まで経過しています。全体的に見ると減免の割合が一家庭当たり10%程度減少しています。また、収入超過による退去者は今のところ確認していません。



## ギカイ Check②

### 児童クラブ 全員入れるの

令和6年度は通常利用で33人で、一時利用でも延べ20人と見込んでいました。新年度は現在通常利用で41人、一時利用で14人の申し込みがあります。利用人数が多くなる場合は空き教室を活用するなど、学校と連携しながら全員を受け入れます。



## ギカイ Check③

### ネーミングライツ 税収増に向けて

ネーミングライツによる施設命名権収入はWACK女川スタジアムのみですが、町制施行100周年に向けてどのように働きかけていくのか。体育館や社会教育施設、海岸広場のアウトドア系エリアを区分けすることも考える余地はあり、今回の質疑をきっかけに役場内でも検討していきます。



“町のお金”  
あなたはどのように考えますか？



40代男性

町の持続的な発展には地元の中企業が元気になることが一番。イベント等への一過性の予算措置ではなく、法人税の減税などによる企業支援を！

# 活気のある まちづくりに

## 歳出

### 町の活性化に期待

**問** 地域おこし協力隊の見込み人数と新たな取組は。

**答** 現隊員15人に加え3人を見込み18人分。今回メニューを追加し、おためし地域おこし協力隊と地域おこし協力隊インターンを取り入れ募集します。

#### 地域おこし協力隊員謝礼



6444  
万円

※おためしは3日間以上  
2週間以内での体験。  
※インターンは2週間以上  
3カ月以内での従事。

町内のあちこちで活躍中

### 宿日直体制の廃止で支障は

**問** 警備会社への委託になることで、職員の業務であった婚姻届や死亡届等のサービス低下が懸念されますが。

**答** 令和7年10月からの業務委託後もサービス低下にならないよう継続の方向で検討します。

#### 庁舎警備宿日直業務委託



970  
万円

サービス低下は大丈夫？

### 賃貸住宅入居見込みは

**問** 前年度より3倍近く上がっていますが今後の見込みは。

**答** 13物件79戸分が完成していて、12戸が入居済み、他に管理業者による一括借上げもあり、37戸入居済みで入居率は49.3%です。春の引っ越しシーズンで入居率は半数を超えると考えています。

#### 民間賃貸住宅空室支援金



1090  
万円

移住者の増加に期待したい…

### 出生数が17人!対策の強化を!

**問** 前年度よりも減っていますが、出産時の支援や、結婚、マッチングを行政でも進めてはどうですか。

**答** 令和6年度の出産は17人で、例年より極端に少なく、県町事業の不妊治療の助成制度のPR等の努力をしていきます。また、他自治体の取り組み等も参考に考えていきます。

#### 妊婦のための支援給付金



350  
万円

すこやかに育てほしい

#### 町民の声



病院に通う不便さはあるのですが、他の自治体より子育て支援は手厚いですね。

20代女性

# 生活に密着した まちづくりに



## 多くの観光客を女川に

**問** 新たな観光誘致政策の展開とはどのような事業ですか。

**答** 観光PRのイベントの他、出島へのサイクリングツアー、レンタカーによる島巡りツアー、また、バイクツーリズム等を予定しています。

### 観光誘致事業業務委託



1386  
万円

観光誘致でまちに「にぎわい」を

## 带状疱疹予防接種がはじまります

**問** 前年度より1千万円程増えていますがその要因は。

**答** 高齢者のコロナワクチン接種分の新規計上と国の制度による带状疱疹の予防接種が今年度から実施されることによる増です。

### 予防接種委託

令和7年度から  
65歳以上の方などを対象に  
带状疱疹ワクチンの  
定期接種を実施します。

定期接種の対象・接種する方法・費用



3681  
万円

備えあれば…予防は大事

## 国道398号の車横転事故をうけて

**問** 1月に国道398号で車の横転事故があり、県の維持管理とはいえ連携体制の強化が必要ではないですか。

**答** 前年度は石巻市の業者だったので除融雪のタイミングが合わず苦情もありましたが、今年度は地元業者が2路線受注となります。なお一層県と町と連絡を密に対応します。

### 道路除雪融雪作業委託(国道398号)



県と連携し、除融雪を早めに

## 鹿の駆除頭数は

**問** 牡鹿半島地域でどれくらいの頭数が出て、本町では何頭を目標に駆除するのですか。

**答** 協議会によると令和6年度は8860頭が生息しています。本町は380頭駆除を予定しています。

### 有害鳥獣駆除委託・捕獲事業補助金



1203  
万円

毎年の駆除でも減りません

町民の声



駆除のため町内全域の入山禁止は厳しいので工夫してほしい。

60代男性

# 教育の充実したまちづくりに



## 町内で勉強できる場所づくり

**問** 児童生徒等支援事業の県委託金が今年度で終了しますが、今後も学校教育運営サポートは重要ではないですか。

**答** これまでの女川向学館の功績や関わりは大きなものであり、今後、町単費での現体制の維持が重要と考えます。

### 被災児童生徒等学習支援業務委託



1696万円

向学館でガンバル中学生

## 教育環境の整備を

**問** 今後高校授業料の無償化に伴い、仙台までの通学が増えると思われませんが、補助の拡大の考えはありますか。

**答** 女川に住むことによる通学費のハンデを少なくするために始めたものであり、逆に陸前小野までは補助があるので、理解願います。

### 高等学校等通学費補助



713万円

通学支援で進学先の幅を広げる

## 親しみやすい運動場に

**問** 町として体育施設運営、住民サービスに関する理念を指定管理者に伝える機会を持っていますか。

**答** 指定管理者に任せることで、町としてすべて手を引いているということはありません。運営委員会以外にも日常的に打ち合わせ、話し合いをしています。

### 総合運動場及び女川スタジアム公園指定管理



8623万円

少年サッカーの練習試合

## 積極的な利用促進を

**問** 実施計画の目標値に向けて、広げていく手段や周知はいかがですか。

**答** 4～18歳の540人に対して46%を見込んでいます。町広報やホームページでの掲載、さらに個別に通知なども行っています。

### 学習塾代等支援事業補助



1494万円

子どものチャレンジを後押し

# 令和7年度 一般会計予算

認定

賛成8人 反対2人

## 討論

私はこう考える

賛成

100周年にむけてさらなる飛躍と発展を

鈴木良徳議員

新規事業は旧女川一小跡地への社会教育施設、認定こども園の建設、ピジターバス等整備事業など、町民や本町を訪れる人たちが町内を回遊し、施設の利用等での相乗効果に期待します。海水温

反対

再エネ促進で原発に依存しないまちづくりを

阿部律子議員

旧女川一小跡地整備等は必要な事業ですが、物価高への独自支援策がなく残念です。原発の乾式貯蔵施設設置に対し、使用済核燃料の再処理や最終処分場の見直しもなく、何もかも押し付けられる

ことには毅然とした態度で断るべきです。複合災害も想定し避難計画等の見直しも必要。地球温暖化対策の強化と蓄電池への補助等、原発に依存しない再生可能エネルギーに力を入れた町づくりを強く主張します。町の基幹産業である漁業水産業に対し、新養殖生産や磯焼け対策に期待することにも、子育て支援の一環として学校給食費は全額補助へと強く主張し反対の討論とします。

上昇等への対策として、新養殖生産の実証と検討など基幹産業である漁業水産業に対する町の積極的な姿勢が感じられます。町制施行100周年の関連事業にも期待します。また5年ぶりに普通交付税の不交付団体となり、電源立地地域対策交付金の増額や次年度を目的に使用済核燃料税の導入に向けての準備もあります。新規事業も加え多岐にわたり適切な予算配分であり賛成の討論とします。

QRコードから動画が見られます  
討論は5分02秒から

## 令和7年度特別会計予算

### 地方卸売市場特別会計

歳入歳出にそれぞれ3億3565万円  
(前年度比 2億5295万円の増)

**問** 市場経営の安定化を。仮設荷捌き場の解体工事および増築工事の完成時期、供用開始は。

**答** 解体工事は5月末に終了予定です。その後、直ちに建設工事を始め12月末に完成、供用開始を予定しています。



新施設で衛生管理の充実を

### 国民健康保険特別会計

歳入歳出にそれぞれ8億3835万円  
(前年度比 318万円の減)

**問** 国保税の県内統一と言われていますが、令和7年度に値上げをする動きはありますか。

**答** 令和7年度の時点であげる予定はありませんが、改正に向けて今年度に検討します。

### 介護保険特別会計

歳入歳出にそれぞれ9億160万円  
(前年度比 3350万円の増)

**問** 特別養護老人ホームおながわ、グループホームのどかの女川町民の入所者の人数は。

**答** 特別養護老人ホームおながわが39人、グループホームのどかは17人です。

# 3月 定例会



海の玄関としての役割を

## ビジターバス整備で 賑わい創出を

### 3月定例会の あらまし

会期 3月3日～12日

6人の議員が一般質問を行い、その後、一般議案6件、条例の制定5件、補正予算7件、予算審議7件、人事案件1件、発議案3件を慎重に審議し、すべての案件を原案どおり可決しました。

#### 一般議案

##### 契約の締結

◇ビジターバス等整備  
工事

- ・契約金額 2億4860万円

- ・契約相手 丸本組・田中建設ビジターバス等整備工事企業体

※ビジターバス浮桟橋と観光船用浮桟橋の2本を整備するもの。

##### ビジターバスとは

モーターボートやクルーザー、ヨットなどのフレジャーボート用の係留施設（桟橋）です。

新たな観光拠点として位置付け、町のにぎわい創出や交流人口の拡大を目指します。

◇小型漁船船揚場改修工事

(契約の一部変更)

- ・契約金額

3億8768万9千円

- ・契約相手

丸本組・田中建設小型漁船船揚場改修工事企業体

※コンクリート舗装による整地、船揚場の外周をフェンス囲いおよび施設式門扉の設置、施設案内看板の新調を追加工事するもの。



使いやすい船揚場に

#### 条例の制定

◇議員報酬および費用弁償条例の一部改正

◇女川町長、副町長および教育長の給与および旅費条例の一部改正

◇女川町職員の給与に関する条例の一部改正

※近年の社会情勢の変化に伴い議員報酬等の改正を行うもの。

◇女川町課設置条例の一部改正

※地域イノベーション推進課を設置し、町のブランドینگ事業を積極的にを行い、公民連携事業のさらなる推進を促すもの。

# 船舶から車両へ 新たな島民の足を

## 一般会計補正予算

歳入歳出からそれぞれ1億6096万1千円を減額し、予算の総額を104億8040万7千円としました。

### 繰越明許費

◇町民バス用車両購入事業 ①へ 399万円

### 歳出の主なもの

◇宮城県水産基盤整備事業負担金 ②へ 300万円  
◇ふるさと応援基金積立金 1434万9千円

### ◇介護給付費

290万円

### ◇水道事業出資金

1750万円

◇水産加工団地排水処理施設損失補償金 2659万4千円

◇女川出島線道路新設改良工事 1億円

## ①町民バス出島線の運行は

### 問

町民バス出島線のバスが年度内に納入できないとの事ですが、納入見込みは。また3月31日からの運行に支障はありませんか。

### 答

車両についてはメーカーから9月にリコールがかかり調達できず、いまだ見通しが立っていません。事業所にある予備車を使って運行し故障時には、町の公用車で対応します。

## 町民の声

バス停も近くて便利ですね。朝一番の回送車に乗せてほしいです。



80代女性

### 議会より

日常生活の足として活用し、より利用しやすい交通手段にするため、意見をお寄せください。

## ②県と共同で藻場の再生

### 問

宮城県水産基盤整備事業の内容は。

### 答

宮城県と共同で行う藻場増殖造成事業の一部負担金です。出島寺間海域の海中にアラメなどの海藻が生えるものを沈め定着するよう実証試験を行います。

## 人事案件

### ◇教育長

次の方を選任することに同意しました。

平塚 隆 氏



磯焼け対策を早急に

## 第一回臨時会

会期 1月17日

条例の制定4件、補正予算6件、人事案件1件を原案どおり可決しました。

## 行政報告



こんなに綺麗になりました

◇野球場トイレ改修工事  
・契約金額 2310万円  
・契約相手 菱中建設株式会社石巻支店

※野球場のトイレの便器の改修工事および、それに付随する設備工事

連載企画

町制施行  
100年

次の100年へ  
100人の声

議会と町民  
が一体に

女川町は令和8年4月に町制施行100年をむかえます。次の100年に向けた町民100人の声を5回に分けて連載する企画の第二弾です。町民には、こんな町になってほしい、町に力を入れてほしい分野などの声を掲載します。議会が町民と一体になり、さまざまな声に耳を傾け議会活動に反映して町のさらなる発展に貢献していきます。



出島大橋からの眺望と釣りの醍醐味が楽しめる観光の町  
町民の 町制施行  
菅野 敏守さん 大原南



柔道のまち、女川にふさわしい町にしたい  
あべ たいすけ  
阿部 永駿さん 浦宿一



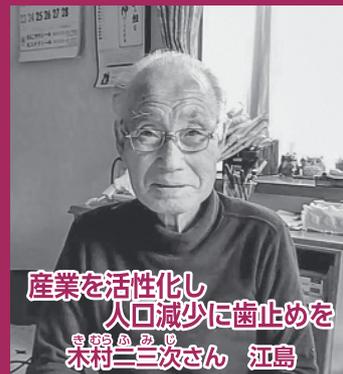
町民の気付いていない  
地元の魅力をもっと発信  
あべ みきこ  
阿部美紀子さん 上三



60代から小さくも  
心豊かな暮らしを！  
あべ みさえさん 大沢



子育て支援だけでなく  
高齢者支援にも力を入れて  
あべ せんじさん 小屋取



産業を活性化し  
人口減少に歯止めを  
むらい みつあきさん 江島



人生100年時代 医療と介護施設の充実を！  
にい はら 洋子さん 上三



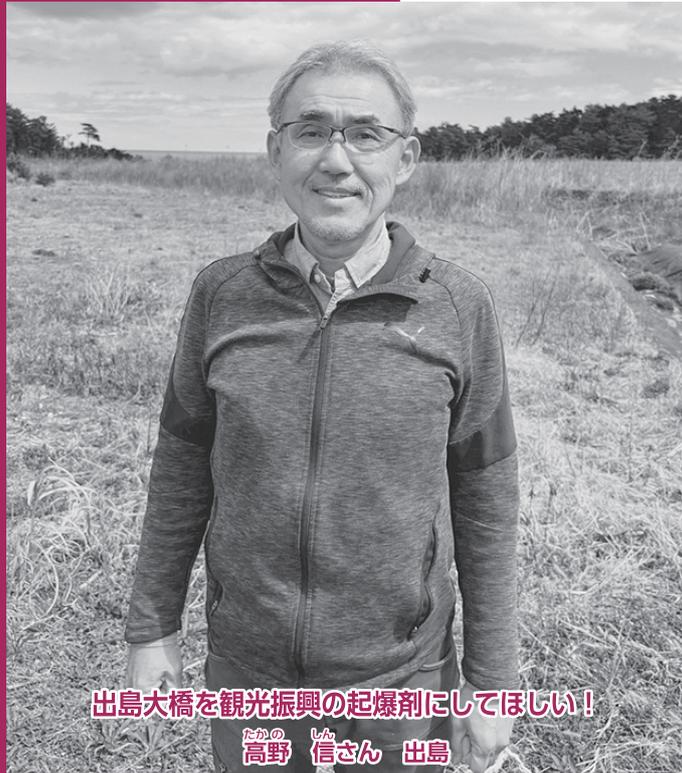
安心して子育てできる町を！  
遊具付き公園の新設を！  
きむら けんじさん 高白浜



トレッキングコースを  
もっと広げてほしい。  
まつもと すみかさん 浦宿三



温暖化対策をして、漁業を続けていける町であれ  
木村 尚さん 塚浜



出島大橋を観光振興の起爆剤にしてほしい！  
高野 信さん 出島



地域の暮らしを支える利用しやすい公共交通の美現  
阿部 求さん 小乗浜



若者が暮らしやすく、商業が発展する町に！  
石森 竜貴さん 野々浜



便利になったことでもっと島が賑わってほしい  
植木美千代さん 寺間



新たなチャレンジへの創業支援で雇用拡大を  
木村 和宏さん 横浦



スポーツを通して活気ある町に  
村上 陽聖さん 大原南



避難道路の整備を早急にと要望する  
木村 義秋さん 大石原



町の真ん中に大きな公園があったらいいな  
崎村 椿さん 大原南



災害時や流通網への活用のために御前浜～石浜間にトンネルがほしい  
東海 進さん 御前浜



自然災害や事故に強く安心して暮らせる町  
鈴木あかりさん 桐ヶ崎

9月～  
10月

## 議員の成り手不足に危機感

### どうして議員報酬は上がったの

全国的に町村議会議員の成り手不足による議会機能の低下が課題となっています。本町議会では、議員報酬の改定が解決策の一つであるとの認識で、議論を重ねてきました。その中で、現在の報酬額では社会情勢が変化する中、厚生年金制度、健康保険等の福利厚生が認められていないことにより、若者を中心とした志がある人が手を上げられない等の意見がありました。議員の成り手不足の解消は、女川町の発展のためにも必要との見解で一致しており、「町議会議員の報酬に関する報告書」を須田町長に提出しました。

### 適正な議員報酬とは

議員報酬の見直しによる算定は、首長の給料に対する議員報酬の割合を県内自治体と比較しました。県内の平均値と同程度の議長44%、副議長37%、議員35%として算定すべきとの意見で一致しました。

### 議会議員報酬 (令和7年4月改定)

	改定前	改定後	改定後
議長	339,000円	366,000円	7.96%
副議長	289,000円	304,000円	5.19%
議員	274,000円	286,000円	4.37%

### 議員報酬改正までの流れ

#### 議会委員会

議員報酬調査特別委員会での議論を経て、町議会議員の報酬に関する申し入れを町に対して行いました。

#### 報酬等審議会

女川町で設置する特別職報酬等審議会は、町議会議員の報酬月額引き上げを妥当と答申しました。

#### 議会3月定例会

令和7年第2回3月定例会で、執行部から議員報酬の改正に伴う議案が提出され、議員の全会一致で可決されました。

#### 町民の声

兼業で働かなくても議員活動一本で生活できるくらいの報酬でもいいのでは。その分、町のために働いてくればいい。



40代男性



70代女性

一律の議員報酬ではなく活動をしている議員が、それに見合った報酬をもらうことも一つ。報酬が上がった分議員活動を頑張してほしい。

#### ギカイの視点

今回、報酬等審議会の答申を受けて報酬が上がりました。これまで以上に町民の声を丁寧に聞き町政に届けることが求められます。また町の課題に対して調査研究を重ねながら議員活動により一層励んで参ります。

### 調査内容

# 地域公共交通について



南三陸スマートGoTo車両

### 調査概要

- 女川町地域公共交通会議、また、町民バスの利用状況やアンケート調査等の説明を受け、質疑を行った。
- 南三陸町で実施している、予約型乗り合い交通サービス事業の視察を行った。
- 仙台市での自動運転実証実験である、青葉山グリーンプロジェクト事業の視察を行った。

### 調査結果

少子高齢化が進む本町において、地域公共交通の充実は、重要かつ喫緊の課題である。執行部においては、住民ニーズに合わせた町民バスのサービスに腐心しているところであり、利便性と経費の関係が課題である。今後町民バス、スクールバス、保育児通所タクシー等、担当課をまたいだ包括的な住民の交通手段を構築すべきとした。また、近い将来のスマートモビリティ時代に向け、レベル4の自動運転の運用に向けた準備を進めること、さらには離島航路、ミヤコーバスに対するこれまでどおりの補助を望むものである。

## 産業教育

### 調査内容

# 通学路の安全確保について



旭が丘区東側交差点

### 調査概要

- 児童生徒からの聞き取りによる問題箇所を視察した。
- 女川消防署東側の交差点は、止まれ標識があるにもかかわらず停車しない車も多く、民有地の雑草により視界不良がある。
- 旭が丘区東側交差点は、バイパスへの合流待ちの車両が横断歩道上で停車することが多く、停止車両の前後を横断する子どもの危険性を感じる。
- ツルハドラッグから女川小中学校への坂道は、カーブの割に通行車の速度が速く、ガードレールやポール、さらには減速帯の設置を検討すべきである。

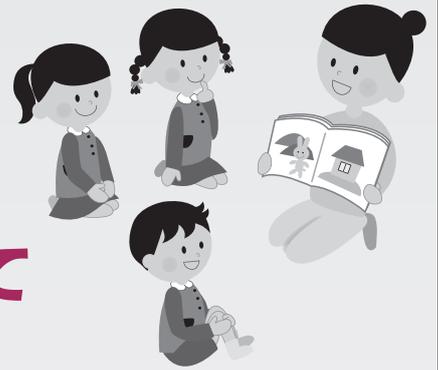
### 調査結果

交通事情の変化や、季節、時間帯により注意点が変わることを踏まえて、安全点検の方法を検討して継続することを望む。また、交通安全教育も関係機関と連携しての充実に期待する。子どもたちの安心・安全を守るため、早急に安全対策事業の予算化をすると共に、一人ひとりが交通安全の意識向上につなげることを期待する。

## 調査内容

2/17

# 社会教育施設及び認定 こども園新築工事について



## 概要

老朽化した勤労青少年センターと第四保育所を廃止し、旧女川第一小学校跡地に社会教育施設と認定こども園を核とした地域生活拠点の整備をする。

この拠点は乳幼児、児童、生徒から成人、高齢者が地区内外から気軽に集い、交流し、生涯にわたって学び合い、心豊かに生きる力を育むものになることを目指す。

## 設計コンセプト

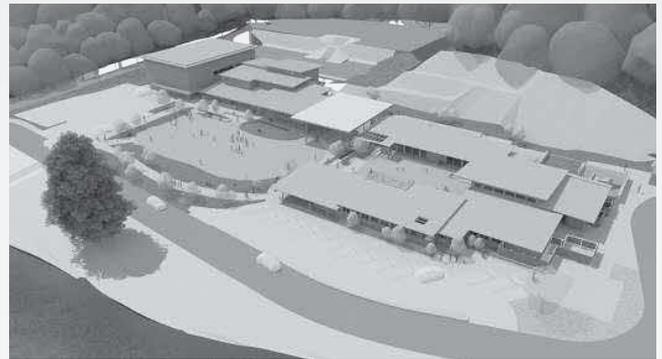
### 「いくつになっても足を運ぶ、全世代の学び舎・遊び舎」

#### 社会教育施設

地上2階・鉄筋コンクリート造  
延べ面積1642㎡  
多目的室、調理実習室、屋内遊戯室等

#### 認定こども園

地上1階・木造  
延べ面積998㎡  
0歳～5歳児各保育室、遊戯室、  
調理室等



**問** 実施計画に比べて事業費が大幅に増えていますか。

**答** 設計コンセプトによりデザインの変更、地盤改良、物価高騰による工事費の増等によるものです。

**問** こども園の園庭やグラウンドの地面はどのようになりますか。

**答** 風であまり飛ばないように土でケミカルバインダーというものになります。

**問** こども園の室内遊戯室の床の造りはどのようになっていますか。

**答** コンクリートの床にクッション性のある塩ビ性のシートになります。子どもが走って遊ぶ分には問題ないと思います。

## ギカイの視点

今年度から2年間にわたる事業であり、地域の文化等さまざまな分野の拠点になります。旧一小周辺の賑わいを取り戻しましょう。

# 議会だより **おながわ** 入選

## 1月～3月 民意反映の「見える化」進めたい

第44回議会広報選考会入賞議会の選定において「議会だよりおながわ」第178号が入選を受賞しました。

《県の講評》

- ・見出しや写真にインパクトがあり、本文導入部にふさわしい紙面構成。
- ・決算審査の質疑は、議会による行政チェックが伝わる。  
手に取りたくなる広報を目指し、今後も町民の意見を聞いて広報作成を進めていきます。



ぜひ見返して下さい！

## 2/3 宮城県選出国會議員との意見交換会

令和7年2月3日に東京都で研修会と意見交換会が開催され、本町からも議長、副議長が出席し、県内他町村議会正副議長とともに知見を深めました。

研修会では、人口減少、物価高騰といったさまざまな社会不安を乗り越え、住民の期待に応える地方議会運営を行うため、「住民が求める地方議会改革とは」「政局の行方」についての研修を行いました。



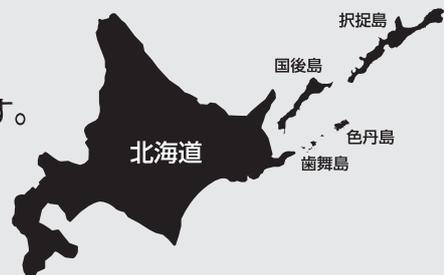
議長が主要幹線の道路改良を要望

研修後には県選出国會議員との意見交換会が開催され、女川町にとって重要な幹線である国道398号について、石巻バイパス沢田工区の早期完成とブルーラインの道路改良を宮城県選出国會議員に要望しました。

## 2/7 今も昔もこれからも日本の領土

我が国が一日も早い返還をロシアに要求している「北方領土」とは、エトロフ 択捉島・クナシリ 国後島・シコタン 色丹島・ハボマイ 歯舞群島の四島です。

北方領土問題に対する国民の関心と理解をさらに深め、北方領土返還問題に対して周知活動などの返還要求運動に取り組むことを決議しました。



## 行政視察 受け入れ状況

他市町村議会議員の皆様が女川町を視察に訪れました。

2/6

### 原発再稼働について／原子力防災体制について

新潟県刈羽村議会

新潟県刈羽村議会議員と原発再稼働が地域や自治体運営に与える影響について意見交換を行い、互いの町村にとってより良い原子力発電所のあり方や将来の地元自治体について議論を行いました。

2/12

### 将来を担う世代による復興まちづくり

北海道北広島市議会



地元にとって原子力発電所とは

# 一般質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

6 議員が質問

ズバリ

# 町政を問う

隅田 翔議員…………… P 19

- (1) 大学連携で新養殖魚種に活路を
- (2) データセンター誘致で活性化に
- (3) 図書館にオンライン予約検索を

阿部 薫議員…………… P 20

- (1) 役場庁舎、喫煙所のあり方は！

鈴木 良徳議員…………… P 21

- (1) 浦宿橋の交通安全対策は

高野 晃議員…………… P 22

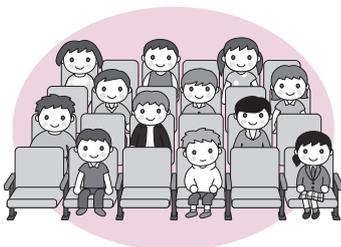
- (1) 使用済燃料の保管期間と搬出先は

阿部 律子議員…………… P 23

- (1) 原子力防災訓練と住民の思いは
- (2) 介護保険制度の現状と課題点は

鈴木 公義議員…………… P 24

- (1) 海の変化と水産業は
- (2) 後期高齢者医療の取り組みは



議会の傍聴はどなたでもできます。

※ 各ページのQRコードから一般質問の動画が見られます。

※ 3問目の一般質問は、紙面の都合上、見出しのみの掲載としています。

次回の定例会は6月16日からの予定です。

なお、議会中継は女川町議会ホームページで配信しますので、ご視聴願います。

詳しくは、町議会事務局(電話54-3131内線312)へお気軽にお問い合わせください。

隅田 すみた

翔議員 しょう



## 問 大学連携で新養殖魚種に活路を

## 答 情報交換しながら臨めれば

答弁者 町長、産業振興課長

**問** 全国各地で海水温の上昇などの影響による不漁が続いており、本町でも被害は深刻です。そこで伺います。

**答** 本町に適した養殖魚種を探すうえで、東北大学大学院農学研究科との連携を深め、施設利用や共同研究を加速させることが重要と考えますが見解を伺います。

**答** 現在町内で実証段階にあるものを含め複数の事業が進行しており、新たな養殖種導入や実現に



地域資源を最大限に活かす

向け、東北大学などと連携して進めていきます。

**問** 漁業関係者の被害は深刻で、1日も早い研究成果が待ち望まれます。枠組み等を決めながら、必要に応じて補正予算等の対応も必要と考えますが見解を伺います。

**答** 本町の既存養殖種の見直しは、海水温上昇により不漁が続く、改善の見通しが立たない状態ですが、関係機関と連携し課題解決を目指しています。

## 問 データセンター誘致で活性化に

## 答 実現に向け各機関と連携します

答弁者 町長、総務課長、産業振興課長

**問** 図書館にオンライン予約検索を  
**答** 経費等の資料を確認し検討します

**問** 総務省ではAIの普及によるデータセンター需要拡大やリスク分散も含めて地方分散を進めています。そこで伺います。

**答** 本町は発電所立地自治体で、安い電気料金などデータセンター誘致は優位性があります。廃校の活用なども含めて、誘致は地域活性化や雇用の創出にもつながり、有効と考えますが見解を伺います。



時代の変化をとらえた誘致を

**問** 町内事業者などとデータセンター事業に関して、いろいろ情報交換しながら今後も臨めればと考えます。

**答** 町内事業者などとデータセンターへの参入も決めており、本町でも電力会社も含めて企業と連携しながら誘致を進めては。

**問** 関西電力ではデータセンターへの参入も決めており、本町でも電力会社も含めて企業と連携しながら誘致を進めては。



# 問 役場庁舎、喫煙所のあり方は!

# 答 モラルとルールを守り利用します

答弁者 総務課長



東日本大震災発生から今年で14年。復興事業としては完結に向いつつも町民の「心の復興」に関しては、未だに一人ひとりの胸に深く重くのしかかっている現状を見過ごしてはなりません。これは職員にも同様で、ストレスを抱えながら職務に当たる方もいるのではないのでしょうか。

たばこなどの嗜好品は健康上の問題もあり、強く勧められるものではありませんが、気分転換の効果もあると考えます。

一方で、喫煙所に職員が集まる姿が住宅地や学校、道路から見えるため、見た目や雰囲気的にふさわしくないのではとの町民の声も聞こえています。

**問** 現在、職員の喫煙率は把握していますか。

**答** 庁舎内の正職員における喫煙率は約3割となります。

**問** 庁舎敷地内の喫煙所で勤務時間中に職員が滞在することを、率直な感想としてどのように思われますか。

**答** 常識の範囲内であればリフレッシュ休息として許容しておりますが、大人数での滞在、喫煙所エリア外の周辺での滞在は好ましくなく、今後も利用者のモラルや利用ルールにより指導します。

**問** 改修とまでは言いませんが、仕切板などの設置により、喫煙所の構造改善することを検討すべきではありませんか。

**答** 構造物の改修や改修は困難となりますので、例えば幕を張って遮へいして周辺から見えないようにするなど、検討して対応します。



改修後



改修前

4月9日に改善されました

鈴木 すすき

良徳 よし のり  
議員



# 問 浦宿橋の交通安全対策は

# 答 信号機を最優先に必要な対策を

答弁者 町民生活課長

町内道路の交通安全対策については、以前から質問が出ていましたが、再度伺います。

**問** 浦宿橋の女川寄りの交差点への信号機の設置について、以前から警察機関に繰り返し、強く要望しているとのことですが、その後の話し合い等の進捗状況はどうなっていますか。

また、協議の結果で信号機設置が困難な場合、スピードが出やすい下り坂なので、減速帯を設けるなど検討してはいかがでしょうか。



信号機や減速帯の早期設置を

**答** 同箇所信号機設置については、毎年4月に宮城県公安委員会から要望調査があり、石巻警察署とも設置が必要との認識を共有のうえ強く要望していますが、現段階で話は進んでいません。

減速帯は、道路管理者である県東部土木事務所と過去に検討しましたが、車が走行した際の周囲への騒音が懸念され、まずは減速を促す点線標示で効果を見ています。

**問** 本町は交通事故死亡事故ゼロ達成日数が2月末時点で、3422日となり、この先10年20年と続くよう、積極的な交通安全対策を行うべきと考えます。

浦宿橋付近の交差点や旧第一保育所前の横断歩道について、暗くなる時間帯には、横断歩道を渡ろうとする歩行者が見えにくい状態になります。交通安全対策費等で外灯の設置を行い、もう少し両脇を明るくするなどし、歩行者を視認しやすくする事で町内の交通安全対策を充実させてはいかがでしょうか。

**答** 夜間パトロールで交通事情や危険の有無を確認していますが、歩行者が見える十分な明るさがあると認識しています。

全ての横断歩道を対象にするのは難しいですが、通行量や危険度に応じて看板や路面標示等で注意喚起します。



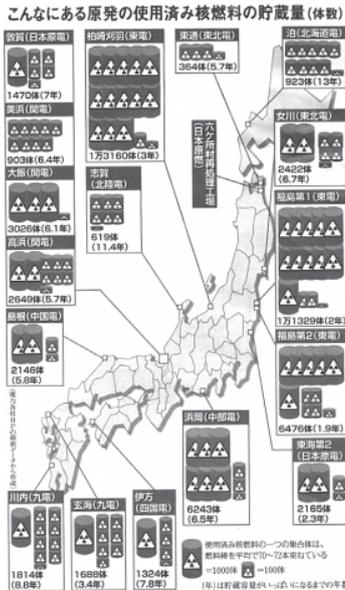
見やすい横断歩道に



# 問 使用済燃料の保管期間と搬出先は

# 答 早期の搬出を促していきます

答弁者 町長、企画課長



使用済核燃料、再処理に何年？

問 使用済燃料の一時保管については、量的制限を設けるべきと考えます。女川原発の関係では、海外にもプルトニウムが0.6ト。高レベル放射性廃棄物(ガラス固化体)が20本、さらに使用済燃料が2862体も保管されているとのこと。原発稼働終了まで、何体にも増える想定なのか。また、3号機稼働時点で想定した保管予定数と比較してどの程度増えますか。

答 今後の見通しについては、後年の運転計画によって燃料取替体数は変動し、3号機についても現時点で運転計画が示されていないため、保管予定数や想定数量など、具体的な数字は示されていません。

問 原子力委員会の決定では「利用目的のないプルトニウムは持たない」という原則を堅持し、「この考え方に基づきプルトニウムの保有量を減少させ、現在の保有量を超えない」としては、全国には1万9000トの使用済燃料があるとのこと。六ヶ所村再処理工場を稼働しても年間800トの処理能力では全て再処理するため20年以上を要し、再処理後に返還されたMOX燃料は女川原発で消費することになります。

使用済MOX燃料は、六ヶ所村再処理工場の受け入れ対象外であり、女川原発内で保管することになると懸念しますが見解を伺います。

答 MOX燃料の利用については、現時点で具体的な利用計画は示されていませんので、今後の発電所の状況や国の動向を注視していきます。

問 原発を稼働し続ける現状では、最終処分場がないため、行き場のない使用済燃料が増えることになり。将来的に女川原発が最終保管場所とならないよう、使用済燃料の保管搬出計画で上限を定めるなど、強く求めるべきと考えますが、町の見解を伺います。

答 使用済燃料を長期間保管せずに、敷地外へ搬出するようこれまでも要請しており、早期に搬出を促すことを目的とした使用済核燃料税の導入も検討しています。事業者に対しては、引き続き計画的に搬出するよう求めっていきます。

各社のプルトニウム所有量(2020年12月末時点)

(全プルトニウム量、kgPu)

所有者	国内所有量				海外所有量		合計
	JAEA ※1	日本原燃 ※2	発電所 ※3	小計	仏国 ※4	英国	
北海道電力	—	91	—	91	106※5	138	335
東北電力	17	99	—	115	318	312	744
東京電力HD	198	955	205	1,358	3,166※5	9,142	13,667
中部電力	119	231	213	563	2,327	1,077	3,404
北陸電力	—	11	—	11	144	119	274
関西電力	268	701	—	969	7,693	3,951	11,644
中国電力	29	107	—	136	651	644	1,295
四国電力	93	168	198	459	97	974	1,071
九州電力	112	402	—	514	167	1,540	2,222
日本原子力発電 (電源開発)※4	149	179	—	328	742	3,908※6	4,978
合計	986	2,944	616	4,545	15,411	21,805	37,216

※ 個数処理(小数点第一位四捨五入)の関係で、合計が合わない箇所がある。また、「—」はプルトニウムを所有していないことを示す。

※1 日本原子力研究開発機構(JAEA)にて既に研究開発の用に供したものは除く。  
 ※2 各電気事業者に引渡し済のプルトニウム量を記載している。  
 ※3 MOX燃料が原子炉に装荷され、原子炉での照射が開始されると、相当量が所有量から減じられる。  
 ※4 仏国回収分のプルトニウムの一部が電気事業者より電源開発に譲渡される予定。(核分裂性プルトニウム量で東北電力 約0.1トン、東京電力HD 約0.7トン、中部電力 約0.1トン、北陸電力 約0.1トン、中国電力 約0.2トン、四国電力 約0.01トン、九州電力 約0.1トンの合計約1.3トン)  
 ※5 東京電力HDが仏国に保有しているプルトニウムの一部(核分裂性プルトニウム量で約40kg)が北海道電力に譲渡される予定。  
 ※6 日本原子力発電の英国での所有量は一部推定値を含む。

国外にも多くのプルトニウムが

あべ  
阿部  
りつこ  
律子  
議員



## 問 原子力防災訓練と住民の思いは

## 答 住民の不安解消に努めていきます

答弁者 町長、企画課長

問 令和6年度原子力防災訓練が2月8日に行われました。今回の町民参加20数人に至った経緯と、避難訓練の検証および今後に活かすべき課題は。

答 初めて公募しましたが、参加者が増えませんでした。訓練時期の選定やアプリの普及等の促進が課題と認識しています。問 「重大な事故が発生した場合、即時に全ての住民を指定した避難所に避難させられるのか。生活環境の整った避難所生活に約束できるのか。国、電力に対して最大の金銭保証をするよう働きかけることができるのか」との住民の声ですが、不安を解消するための今後の訓練実施計画や対策は。



もっと多くの町民の参加を

## 問 介護保険制度の現状と問題点は

## 答 制度の課題・現状把握に努めます

答弁者 町長、健康福祉課長

問 介護保険は2000年4月に制度が開始され、当初は「介護の社会化」がうたわれました。政府が訪問介護の基

問 介護保険制度の安定的な継続のため、近隣市町と連携し、介護保険の国負担の大幅増を訴えていくべきではないですか。答 必要に応じ、宮城県や町村会と連携しながら要望活動を行います。問 東京都世田谷区では昨年、介護の人材不足や事業所の経営危機に対して区独自の給付金を行いました。本町も独自の給付制度が必要では。答 町独自として給付金制度を創設する考えはありません。



介護の人材不足、経営が大変

鈴木 すすき

公義 議員 きみよし



# 問 海の変化と水産業は

## 答 生産者と一緒に取り組みます

答弁者 町長、産業振興課長



地球温暖化や黒潮の大蛇行による海水温の上昇により、さまざまな影響が出ています。ホタテ、カキ、ホヤのへい死が多くなり、ギンザケ養殖の期間短縮による水揚量の減少も懸念されるどころです。

**問** サバ養殖実証実験の詳細について伺います。

**答** サバ養殖試験事業は御前浜の海域の一部にいけすを設置、令和8年度に稚魚を投入して出荷サイズまでに成長するかを実証する計画です。

**問** トリガイ、三倍体カキ等の新たな取り組みを実施することに対する見解を伺います。

**答** 養殖業の危機感は生産者だけでなく水産加工業や行政も共有し、既にチャレンジを始めている人もいます。トリガイ、三倍体カキ以外の選択肢にも行政が生産者と一緒になって今後も取り組んでいきます。



成長中の三倍体（ほぼ）カキ

# 問 後期高齢者医療の取り組みは

## 答 健康増進や適切受診で医療費抑制

答弁者 町民生活、健康福祉課長



浦宿一区での健康講話

平成20年度に「超高齢化社会を展望した新たな医療保険体系の実現」のため、後期高齢者医療制度が始まり、17年目を迎えました。昨今の団塊世代の制度加入により、被保険者数の急激な増加があります。

**問** 本町直近5年間の被保険者の推移と一体的実施事業の取り組みは。

**答** 被保険者数は、令和元年度から5年間で13人増加しています。一体的実施事業では、糖尿病重症

化予防の教室や家庭訪問等を実施しています。

**問** 後発医療薬品の利用促進、頻回・重複受診や重複服薬の現状と対策は。

**答** 医薬品の削減額が分かる通知等の送付や、戸別訪問で受診・服薬の重複を確認し、必要に応じて改善指導をしています。

**問** マイナ保険証への切り替えと取り組みは。

**答** 現行の保険証が最長で今年7月まで使用できるほか、必要な方には資格確認書を発行します。

新規開講

# 女川町議会

## 議員養成塾

あなたも町の議員に立候補してみませんか？

対象：町民の方

場所：生涯学習センター研修室

	日時	内容
第1回	6月5日(木) 19:00～	●開講式 ●議会と議員の役割 ・地方議会制度 ・議員の義務と責任 ・議会と行政の関わり など
第2回	7月3日(木) 19:00～	●議員活動の実際 ・常任委員会 ・特別委員会 ・議会運営委員会 ・町内での活動 など ●行政用語の解説
第3回	8月21日(木) 19:00～	●議会での一般質問の仕方
第4回	9月定例会中	●議会の傍聴 ・本会議 ・決算審査特別委員会
第5回	9月18日(木) 19:00～	●議員になるには 立候補から初議会まで ●ふりかえり ●閉講式

あなたの声を  
町政に  
反映してみよう



申込み・問合せ先

お電話で申込み下さい

女川町議会事務局

TEL 0225-54-3131 (内線311)

申込みメ切 令和7年5月15日(木) 午後5時まで

主催：女川町議会

女川で輝いている人、団体を紹介しています。



# 子ども食堂

～みんなの  
女川ダイニングとは～



スタッフの皆さん

昨年12月に始まった、非営利の晩ごはん会(子ども食堂)です。夕ご飯の準備から一晩だけ解放されて、ホッとひと息つける時間を過ごしませんか?忙しい子育て世帯、ひとりの時間の多い単身世帯、そして働き盛りの現役世代の皆さんがみんなごちゃまぜになって、一つの食卓を囲みます。あたたかいごはんでは体も心もほぐれて、やさしい気持ちをおうちに持ち帰ってもらえたらうれしい。そんな想いで月に一度開いている食事の場です。

子どもと子育て世代の  
やすらぎの場



開催日 毎月最終木曜日  
時間 17時～19時  
場所 まちなか交流館

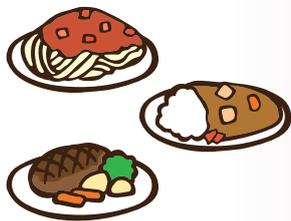
任意のボランティア団体なので、寄付金や助成金、フードバンクからの支援品等を寄せ集めて運営しているところです。活動の中心である芳岡千裕さんによると、活動をやる中で少しずつ支援の輪の広がりを感じると共に、改めて自分が地域に支えられていることに気づかされたということでした。



みんな一緒にワイワイ楽しく



議会より  
住民皆さんがそれぞれのフィールドで活動していることは素晴らしいと思います。これからの活動の継続、活性化を期待します。



委員長 隅田 翔  
副委員長 阿部 律子  
委員 宮坂 千尋  
高野 晃  
鈴木 公義  
佐藤 誠一  
発行責任者 佐藤 良一



提供：おながわ春のまつり実行委員会

3月23日におながわ春の祭りが開催されました。第10回目を数える「津波伝承 女川復興男」は、駅前広場に会場を移して実施されました。これからも「津波が来たら高台に逃げる」という津波避難の基本を後世に語り継いでほしいです。

津波伝承女川復興男

表紙説明